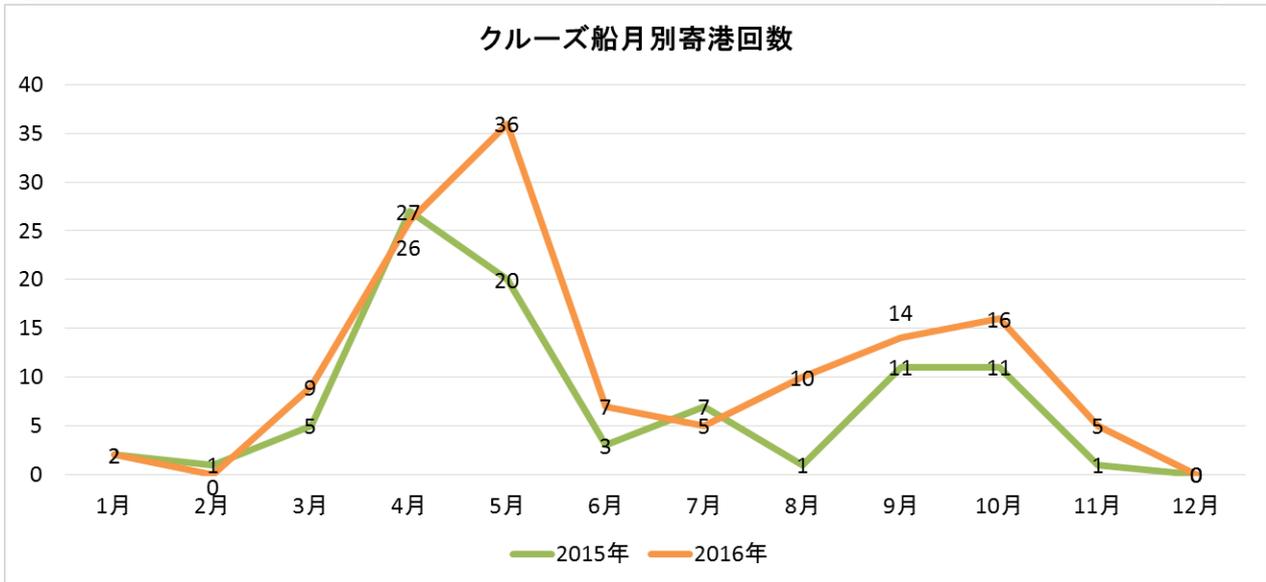




中国クルーズレポート 1月号

○2016年（平成28年）中国管内港湾におけるクルーズ船寄港回数（2016年12月までの速報値）

2016年の年間クルーズ船寄港回数は、130回（前年同期比1.46倍）



中国管内港湾におけるクルーズ船の寄港回数

単位：回

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1～12月 合計
2015年	外国船社	2	1	3	26	18	0	3	1	8	5	0	0	67
	日本船社	0	0	2	1	2	3	4	0	3	6	1	0	22
	計	2	1	5	27	20	3	7	1	11	11	1	0	89
2016年	外国船社	1	0	5	25	30	6	1	9	9	7	0	0	93
	日本船社	1	0	4	1	6	1	4	1	5	9	5	0	37
	計	2	0	9	26	36	7	5	10	14	16	5	0	130
前 年 同 期 比	外国船社	0.50	0.00	1.67	0.96	1.67	—	0.33	9.00	1.13	1.40	—	—	1.39
	日本船社	—	—	2.00	1.00	3.00	0.33	1.00	—	1.67	1.50	5.00	—	1.68
	計	1.00	0.00	1.80	0.96	1.80	2.33	0.71	10.00	1.27	1.45	5.00	—	1.46

出典：港湾管理者（下関港を除く）からの聞き取りに基づき中国地方整備局で作成

2016年の寄港回数（計：130回）

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
広島港	47	※浦郷漁港（隠岐郡西ノ島町）	3	福山港	1
境港	33	尾道糸崎港	2	※森野漁港（周防大島町）	1
宇野港	17	岩国港	2	三田尻中関港	1
※厳島港	11	※大社漁港（出雲市）	1	※仙崎港	1
※萩港	8	浜田港	1	水島港	1

※はクルーズ客船沖合停泊（乗客はテンドーボートで上陸）したものを含む。

寄港回数は平成29年1月4日現在の速報値であり、後日変更される場合があります。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

スガ タカノリ ヨシダ ホウセイ
室長 菅 高德 課長補佐 吉田 豊成

TEL：082-511-3928（直通）



1月のトピックス

○2017年 中国管内新年初寄港 「にっぽん丸」が尾道糸崎港に寄港しました。



尾道糸崎港糸崎岸壁に停泊する客船「にっぽん丸」



入港をお迎えする安芸本郷太鼓同好会、
小早川隆景・三原二之丸会甲冑隊の皆さん



三原市長より歓迎挨拶



2016 三原ミスやっさによる花束贈呈

平成29年1月6日（金）、「にっぽん丸（22,472ト）」が広島県三原市の尾道糸崎港糸崎岸壁に寄港し、寄港歓迎行事を開催しました。

今回のクルーズは、神戸港発着で太平洋と瀬戸内海を航行して宮崎港、そして当港を巡る「新春初旅」の航海です。

折りしも本年、当地では「瀬戸内三原 築城450年」を迎えることから、岸壁接岸時には安芸本郷太鼓同好会の演奏と小早川隆景・三原二之丸会の甲冑隊のお出迎えによって盛大に歓迎いたしました。

歓迎セレモニーでは、三原市長の寄港歓迎の挨拶の後、2016 三原ミスやっさほか花束と記念品の贈呈を行いました。また、停泊中には臨時土産店や臨時観光案内所を設置してご乗船の皆さまをおもてなしました。

出港時の送別セレモニーでは、郷土芸能「三原やっさ踊り」の演舞披露や「別れのテープ投げ」にて別れを惜しみつつ再会を誓った次第です。

近年、日本を代表する客船の寄港が相次ぐ尾道糸崎港糸崎岸壁は、瀬戸内海を巡るクルーズの寄港地として定着しているようです。



○「にっぽん丸」が鞆の浦（福山港）に初寄港しました。



鞆の浦沖に停泊する客船「にっぽん丸」



歓迎式典の様子



観光船による歓迎



臨時土産物売場の様子

平成29年1月12日（木）、「にっぽん丸（22,472ト）」が福山港へ寄港しました。今回は、にっぽん丸として初めて鞆の浦沖へ停泊し、陸との往来は通船で行われました。約350人の乗客は鞆の浦の散策やしまなみ海道の観光に向かいました。

通船の発着場付近では、地元特産品の「保命酒」から造られた甘酒のふるまいや土産物販売場が臨時で設けられ、多くの乗客で賑わいました。

船内で行われた歓迎式典には、枝広直幹福山市長や林克士福山商工会議所会頭らが出席し、鞆こども園による太鼓や踊りのステージのあと、記念の盾を贈呈しました。また、今後のチャーター企画に向けた市内の企業や、一般市民を対象とした見学会も実施されました。